

モウソウチク材の展開技術の開発研究

木材工業部 米蔵 優, 遠矢良太郎, 上原 守峰, 山之内清竜

竹の生育地は東南アジアを中心として、特にわが国の風土は、四面が海に囲まれた南北に細長い列島をしており、気候は温暖湿潤で竹の生育に適し、ほぼ全国的に竹林が豊富に分布している。その中でも鹿児島県は全国一の竹材生産県であり、特に高い品質の評価を得ている。

竹材は、反り収縮などの欠点が少なく、材料としても極めて安定しており、かつ、美観にも優れているため工芸品のみでなく、家具用材、建材などの利用化が試みられている。

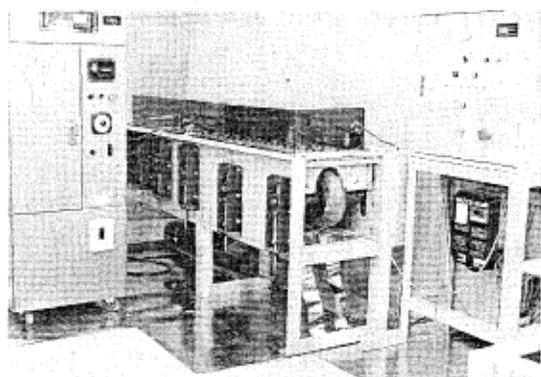
また近年、原木の輸入規制、森林資源の保護と木材の利用に関して様々な問題が提起されている中で、身近に豊富で短期間での再生産が可能な竹材の利用拡大は、木質資源活用の有効な手段であると考えられる。

しかしながら、竹材は各種の材質的特徴を多く持ちながら、形状が円筒形であるために製品への利用範囲が中小工芸品等に限定され、大型製品への利用化を困難にしている。

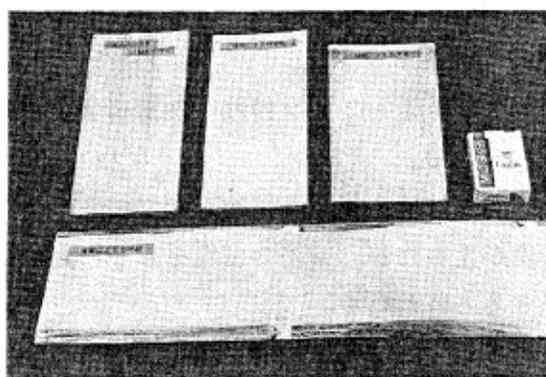
そこで今回、半割りしたモウソウチク曲面材を長尺幅広に展開する条件等を決定し、その製造技術を確認するための開発研究を行った。その結果、これまで困難とされていた竹長尺幅広平板の製造技術と製造実験装置の開発に成功した（特許出願中）。

今後の計画としては、更に高い精度と機能性を備え、広い分野に素材を提供するための多量・連続製造が可能である生産機械の早期完成を目指して研究を継続する予定である。

これにより竹材の大型家具、建築部材等、新しい用途拡大と木質資源の有効利用に多少なりとも貢献できると思われる。



加熱展開装置



モウソウチク材の展開平板